

フォローアップ講習会

「コミュニケーションをとる上で大切なこと」と題して

講師高野さんは、コミュニケーション能力=聴く力とは、外交的は自己発信力が高く、内向的は、心のエネルギーが内に向かっていること。相手の話にうなづいたり、あいづちを打つことは、言葉を発しなくても、確実に相手に伝わり、受け取られているという感覚があり安心して話ができる。また、相手の気持ちを想像する事が大事だと5つの聞く(聴く)ポイントを自身の経験を交えながら話されました。



社会福祉法人 亀岡市社会福祉協議会
地域支援課 生活支援係
臨床心理士 高野 元貴

聞く(聴く)ための5つのポイント

- ①うなづき・・非言語的メッセージ
- ②あいづち・・同意・共感・驚き
- ③共感・・寄り添う態度
- ④じゃまをしない・・自分の経験や気持ちを前出しにしない
- ⑤質問・・その時どう思ったか。話を広げ、促す

みなさん、講師の話に大ききうなづきながら熱心にきいておられました。



「ほめて伸ばそう」
—子どもの無限の可能性—
次世代を支える今の子どもたちに必要なこと



4人グループで1人1枚ネガティブ言葉のカードを選ぶ
ネガティブ言葉をポジティブ言葉に書き変えてみよう。

例)【ネガティブワード】おおざっぱ
【ポジティブワード】おおらかでいいね
カードに書いたポジティブ言葉をグループ内で発表しあう。

グループでもう1枚ネガティブカードを選んで全員でポジティブ言葉に変える。
グループ内の代表者が発表



感想

- ☆講師の高野さんが「口に出してほめることが大事」という言葉が心に残りました。
- ☆とても有意義に参加できました。
- ☆自分や子どものためにもなるお話しでした。
- ☆ネガティブをポジティブな言葉に変えるのは大人になるほど難しいかもしれないですね。

託児の様子



【参加者】
おねがい会員3人
まかせて会員 7人
両方会員 6人
計 16人